

平成30年度予算見積調書

課室名：環境政策課
 担当名：企画・環境影響評価等担当
 内線：3019 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B5	環境学習推進事業費		一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境学習推進費	
事業期間	平成5年度～	根拠法令	環境教育等による環境保全の取組みの促進に関する法律、埼玉県環境基本条例		宣言項目	10	新たなエネルギー社会の構築	
					分野施策	051142	環境に優しい社会づくり	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>環境への負荷を軽減し、自然がもたらす恵みを楽しむためには、県民の意識や生活スタイルを変革することが急務である。このような中で、環境について正しく理解し、環境を守ろうとする態度を養うための学習機会をより一層充実させることが不可欠である。</p> <p>平成24年10月の環境教育等促進法の施行を受け、県民各層の連携のもと、環境保全への意欲の増進や学校や職場における環境学習の支援の充実を図り、「環境にやさしい県」を支える人づくりを推進する。</p> <p>(1) 人材派遣などによる環境学習の支援 4,350千円 (2) 環境学習応援隊派遣事業 174千円 (3) 環境学習のあり方検討業務 2,231千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 人材派遣や学習資料の提供などによる環境学習の支援 4,350千円 (ア) 環境アドバイザー・環境教育アシスタントの派遣：延べ270回（通年） (イ) 環境学習図書等の購入 イ 環境学習応援隊派遣 174千円 ウ 環境学習のあり方検討業務 2,231千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 自身の生活とそれを取り巻く環境との関わりを正確に理解し、環境を保全するために主体的に行動することを促していく。 イ 企業等のもつ優れたノウハウを活用することで、学校だけでは対応が困難な環境教育の進展を図る。 ウ 他県の先進事例を調査し、本県の環境資源や環境学習施設を活かした新たな環境学習手法を検討する委員会を開催する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 環境アドバイザー・環境教育アシスタント・環境学習応援隊派遣件数 イ 平成27年度：237件→平成33年度：300件</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア 環境問題に関する専門的な知識や豊富な経験をもつ県民と協働 イ 環境学習応援隊登録企業等との協働により、学校で行われる環境学習を支援</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税（包括算定経費） (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	6,755	繰入金					1,934	2,578
前年額	4,177						60	